

令和7年度 第2回村上市地域福祉計画（第3期）審議会及び  
地域福祉活動計画（第3期）推進委員会 会議録

- 1 開催日時 令和8年3月13日（金）13：30～
- 2 開催場所 村上市生涯学習推進センター（マナボーテ村上）2階 大会議室
- 3 出席委員 出席委員：9名  
（敬称略） 佐野一彦、大滝恵子、東海林則夫、鈴木明日香、菅原順一、長谷部恵、  
能登谷愛貴、本間 薫、青木 茂
- 4 欠席委員 欠席委員：6名  
（敬称略） 渡部久美、瀬賀博美、阿部久美子、野田尚道
- 5 出席職員 福祉課：太田課長、石嶋課長補佐（総合相談室長）、  
介護高齢課：川村課長補佐（高齢者支援室長）  
保健医療課：中川課長補佐（健康サポート室長）
- 6 地域福祉活動計画推進委員会事務局（村上市社会福祉協議会）  
総務課：小田課長、富樫係長  
地域福祉課：佐藤課長、鈴木係長
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

## 会 議 経 過

### 1 開会（13：30）

### 2 会長あいさつ

### 3 委員紹介

#### 6 番委員

民生委員児童委員協議会連合会の海沼委員から、菅原委員が就任、自己紹介

### 4 議事内容（進行：会長）

- ・出席委員の報告（委員会条例第5条第2項の規定により、本会成立）

## 議題1：第2期地域福祉計画 令和6,7年度 事業評価について

資料1（黄色表紙のもの）について、事務局から説明

会長： 評価審議の進め方について説明。事前に委員の方から事業評価していただいたものを、事務局がすべて集計。その集計結果から、特に委員の意見がわれている計8項目の事業について、重点的に審議し評価していく。

事務局： 今回の評価は、令和6年度と7年度の2ヵ年の評価である。7年度の評価は、6年度でBからD評価のものを実施、A評価がついている項目は、取組ができているとして評価し除外している。B評価以下がどう変わったかを自己評価している。

### 1. 地域福祉計画 1P 基本目標1-（1）-①相談体制の拡充について

事前評価：A-7名、B-4名、C-1名、D-0名、未評価-1名

#### 【審議結果：B評価】

委員： 包括支援センターの24時間対応について、民生委員にその認識が届いてない。先輩委員から「土日祝はスマホの電源を切るよう」指導される現状があり、行政との教育・連携の乖離を強く訴えた。

事務局： 休日夜間の相談受け入れは包括支援センターが行っている。民生委員さんが緊急時の受け入れになるという意味で書いたわけではない。書き方が悪く大変申し訳ない。

会長： 全国的に民生委員のなり手不足が深刻化になっている。去年の一斉改選で去年から下がった、本来はすべての町内に配置するのが前提であり、全

国平均でも 90%を切るのではないかとわれている。この原因は、民生委員の過剰な負担が原因であり、今後民生委員になろうとしている人の負担を減らしていかないとさらに悪化するだろう。

行政と民生委員との意識のズレ等がないように、統一的なアナウンスができるように対応していただきたい。

会長： 私の意見として、各課が所管する各相談事業が相互に補完しあえるように連携を意識していただきたい。市民がたらいまわしにされないように。この地域福祉計画は、庁内各課の連携を促進するための計画であるのでぜひ浸透してほしい。

## 2. 地域福祉計画 3P 基本目標 1-（2）-①地域とつながる場づくりについて

事前評価：A-2 名、B-6 名、C-3 名、D-0 名、未評価-2 名

### 【審議結果：B 評価】

委員： 全体の集計では、C が多かったが私は B と評価をした。私も集落の場づくりに携わり、スタッフ側の人材確保や場所の確保など、やりたいと思っていてすぐ出来るものではない、難しい分野だと十分理解している。あらかわの茶の間が終了となった、まちづくりでも取組みが不十分と自己評価 C としているが、新規立ち上げは難しい。既存のイベント等を活用するなど、気軽な場づくりを増やしてほしいと考えている。

委員： 能登谷委員と同じ意見。山北地区で居場所づくりを行っているが、簡単なことではないと実感している。能登谷委員が言われてように B 評価で良いのではと考える。

委員： 自分の地域をみても立ち上げようとしている人が高齢化により運営が困難な現状が見受けられる。サポートが必要と感じる。評価なしだったが、B か C 評価と考える。

## 3. 地域福祉計画 4P 基本目標 1-（3）-①多様な職種とネットワークの構築について

事前評価：A-8 名、B-3 名、C-0 名、D-0 名、未評価-2 名

### 【審議結果：A 評価】

会長： 多機関、多職種ネットワークのうまくいくいかないは、各機関、組織のどこまでできるか限界を理解しなければ、ネットワークは難しいこと。

#### 4. 地域福祉計画 5P 基本目標 2- (1) -②各種サービスの充実について

事前評価：A-3 名、B-9 名、C-0 名、D-0 名、未評価-1 名

##### 【審議結果：B 評価】

委員： 免許返納後の移動手段として、まちなか循環バス等の利用がうまく活用できていない。時刻表などの周知不足で困ったことがあった。

会長： 担当課へ庁内連携の中でこの意見をつないでほしい。

事務局： はい、伝えます。

委員： 村上自動車学校と連携して、高齢者講習の際に免許返納後の生活支援についての説明など、免許返納を検討する段階からフォローできる体制ができれば安心感があると思う。

#### 5. 地域福祉計画 7P 基本目標 2- (3) -①避難行動支援者等の支援について

事前評価：A-7 名、B-3 名、C-0 名、D-0 名、未評価-3 名

##### 【審議結果：B 評価】

委員： 私のいる集落の方でも避難行動要支援者情報を集落だとかに検討するかどうか、個人情報開示をするかどうかチェック項目が入るがあるが、本人は良く理解せずに「しなくてよい」と回答して個人情報開示をしていない方がいるのではないかとに見受けられた。また、昨年村上病院の研修医、医師、新潟大学の医師に手伝ってもらい、高齢者単身世帯へ訪問してもらい、災害時に関する意識についてヒアリングを行ってもらった。そこで「避難する必要ない」「避難したくない」などの意見があったと聞いた。個別避難計画の要支援者たちへの丁寧なヒアリング、単なる書類作成ではなく、寄り添った説明が必要だと思う。

会長： 名簿を作るだけで満足せず、災害時に本当に動ける仕組みにしないと意味がない。

#### 6. 地域福祉計画 9P 基本目標 4- (2) -①福祉教育の拡充について

事前評価：A-4 名、B-7 名、C-0 名、D-0 名、未評価-2 名

##### 【審議結果：B 評価】

委員： 保育園の方でも年間を通して、色々な地域の方や学生の方が来て、子ども達と関わりを持ってくれる。中学生、高校生のボランティア、実習生も含め、何となく保育園に来てみたけど「こどもと関わるのが楽しい」、またその逆で「大変」「楽しみで来たが、難しかった」などの声もある。このような体験が将来の選択肢を広げていると思うので、地域へ広めていきたい。

副会長： 福祉教育の拡充ということで、学校教育課で学習、体験活動を行っているという実績がある。他に同和教育を道徳の授業で取り上げて、公開授業を行ったりと現場は積極的に行っている。また、市民課でも講演会や映画上映を行い、人権啓発に積極的に行っているのは、大変良いことである。

#### 7.地域福祉計画 10P 基本目標 4 - (2) -①互助共助の醸成について

事前評価：A-4 名、B-7 名、C-0 名、D-0 名、未評価-2 名

##### 【審議結果：B 評価】

委員： あらかわ互近所ささえ～る隊の隊長をしています。荒川地区には、集落支援員が 3 人いるので、その集落支援員と連携し訪問活動を行っているが、顔の見える関係性づくりが何よりも重要と感じる。

委員： 老人クラブに所属しており、その活動の中に友愛活動がある。先ほどのお話の中で知らない家には行けないとお聞きしたが訪ねるのではなく、回覧板を置きに行った時などに安否確認を行っている。民生委員ほど深く入り込まないまでも、日常的な安否確認が安心感につながっている。

会長： クラブの役割ではなく、活動の一環としての取組であり、これが重層的と言い、色々な方が色々なことをやることによって安心感が高まる。

#### 8.地域福祉計画 10P 基本目標 4- (2) -②多様な人材の確保・育成について

事前評価：A-4 名、B-6 名、C-2 名、D-0 名、未評価-1 名

##### 【審議結果：B 評価】

委員： 民生委員・児童委員のなり手不足について意見を述べたい。民生委員の活動は外から見えにくく、必要性が市民に伝わっていない。これが市の充足率の低下につながっているのではないか。活動費の増額などが即効性のある、比較的早期に取り組める対策ではないか。民生委員の活動は、地域福祉の基盤であり、その持続性を確保することは行政の責任である。東京都は、今年から活動費を 1 万円から 3 万円に増額した。東京都と比較するには規模が違うが、制度維持のための投資で大変重要。

そして何より、民生委員協力員制度について、現民生委員として大変ありがたい。まずは、長年不在となっている地区の課題を調査し、解決していただきたい。

会長： 村上市の民生委員充足率が81.8%ということで、全国平均、県平均より10%も低い数字となっている。民生委員は、国の制度であり県知事が推薦し、厚生労働大臣が委嘱する流れであり、市町村の役割は、適任者の方をきちんと選ぶことだが、これが難しい。私は今、厚生労働省の民生委員持続可能な制度創設するための協議会の座長をしているので、実状を中央に届けて行きたい。

以上もちまして、地域福祉計画8項目の評価を終了します。

## 議題2：第2期地域福祉活動計画 令和6,7年度 事業評価について

会長： 評価審議の進め方は、地域福祉計画のように委員評価で意見がわれた、3項目について、重点的に審議し評価していく。

事務局から上記3項目について、重点的に説明をお願いします。

事務局： 今回の評価は、令和6年度と7年度の2ヵ年の評価である。社会福祉協議会では、7年度の評価を、6年度でC、D評価のものだけを実施した。A、B判定がついている項目は、除外している。

### 1. 地域福祉計画1P 基本目標1-(1)-②地域の茶の間・サロンについて

事前評価：A-2名、B-6名、C-1名、D-0名、未評価-4名

#### 【審議結果：B評価】

委員： 地域の茶の間について、各地で実施しているが世代交代が始まっている。次に新しい方が運営することが難しい状態だと耳にする。「やめた」「やめる」があるようだ。社協は、どこが開催しているか把握していると思うので、相談する体制を取ってほしい。

委員： 私の町内で始めた地域の茶の間は、20年になる。全員80代。主催は、自分がやっているが交代する人はいない。他の地域と違って、男性が多く、出席率が高い。これまで社協が訪問したことはない。

### 2. 地域福祉活動計画1P 基本目標1-(2)-①生きづらさを抱える人への支援について

事前評価：A-3名、B-6名、C-0名、D-0名、未評価-4名

#### 【審議結果：A評価】

委員： 令和7年度の利用者数の記載はなかったが、週2回継続的に開催されていること。専属のスタッフがみつからなくても、社協職員が資質向上を目指して研修に参加し、延べ1000名を超える方々のフォローをしている状況をみて、十分取り組んでいると思いA評価とした。

副会長： 「みつば」について、広報やフォーラム等で紹介があり、活動について上辺だけだが、何となく知っていた。とても地道にやられていることを、これからもっと紹介していくと、「みつば」を知らない人もいると思うので、参加しやすくなるのではと思う。とても良い活動だと思う。

### 3. 地域福祉活動計画4P 基本目標2-(3)-①災害ボランティアの養成について

事前評価：A-0名、B-3名、C-9名、D-0名、未評価-1名

#### 【審議結果：B評価】

会長： 委員からのコメントで【C】活動が活発な村上市防災士会（危機管理室）などとも連携したり、相談や声掛けをしてみてもありますが、現在の市の体制について、分かりますか。

事務局： 村上市防災士会との連携ですが、過去には防災士会と懇談会を実施していた。また、実際災害の時など協力を依頼したが、防災士会の人たちは、仕事をしている方達ばかりなので、実働していただくまでには至らなかった。市と災害推進連携会議も立ち上げ、その会議には、市危機管理室も加わっており、危機管理室が防災士会の事務局になるので、これからは、やりたいことが広がって来ると思う。

会長： 防災士の数、人材育成はどうか。

事務局： 市で受講料を補助するなど、バックアップして人材育成をしている。社協の職員も防災士の方がいる。連携推進会議が立ち上がり、実際会議でも防災士会との連携について話も出ているので、今後、研修会等合同でやっていけると考えている。

以上で3項目の評価について終了。

### 議題3：第3期計画策定に伴うアンケート調査の結果について

本日配布した結果について、事務局から説明

- ・2種類のアンケートを実施した。
- ・市民意識調査は現在分析中であり、現時点では属性や家族構成などの基本集計を整理している。
- ・中高生向けアンケートは、市内高等学校4校、中学校7校の計1,976人に依頼し、回答率は50.9%であった。
- ・回答内容からは、気軽に相談できる場や手段を求める傾向が伺えた。
- ・今後、アンケート結果を分析し、次期計画策定の骨子作成につなげていく予定である。

#### 議題 4：住民座談会の進捗説明について

事務局から住民座談会の進捗について説明

- ・今年度は、5 か所で住民座談会を実施し、今週末の開催をもって全日程終了する。
- ・5 か所合計で、職員、スタッフを含め 125 名が参加した。
- ・主な意見として、高齢化に伴う移動手段、買い物、免許返納後の不安などが挙げられ、また、熊や猿の被害、空き家の防犯上の問題など、これまであまり見られなかった課題も共有された。一方で、地域行事等を通じて関係性が築かれていることや、隣近所でできる支え合いに関する前向きな意見もあった。

委員： とても良い会に参加させてもらったと思っている。色々な問題が出たが、山北地区の 7 番目の質問があるんですが、私も驚いたが。外国人世帯が 20 世帯あった。集落の 1 割になるが、その中できちんとコミュニティとして集落が「きちんとやっています」とのことだった。前から確かに外国人の方はおられるけども、出来ているんだといるのでいう事で安心した。これからもっと、増えて来るのかなということで、先進的に頑張っているため、参考になればということで、一報したい。

副会長： 荒川地区の坂町の座談会へ行ってきました。現状だとか福祉課題だとか、そこに住んでいないので、実際、そのことが分かってるわけではないんですが、聞いていて、非常にうちの町内でもそういうことがあるなと思うところがたくさんあって、町内が違っても課題・現状は同じなんだと、資料を見て振り返ってもそう感じた。こそして、このような色々な町内の色々な状況を把握できることはとても大事なことなんだなっていうのも、実感した

会長： ありがとうございました。

それでは、進行するところは以上となりますので、次第 5 番以降は、事務局にお返しをしたいと思います。

#### 5 今後のスケジュールについて

事務局から、今後の予定について説明をおこなった。

- ・令和 8 年 9 月 第 3 回審議会  
計画の体系図（案）/地域ヒアリング結果等の報告
- ・令和 8 年 12 月 第 4 回審議会  
計画素案の提示

- ・令和 9 年 3 月 第 5 回審議会  
両計画の答申

## 6 そ の 他

事務局から下記について説明。

- ・村上市で策定されます地域福祉計画は、福祉関連の各種計画の上位計画に位置付けられている。理念計画の性格上、具体的な施策や数値目標を盛り込みにくいですが、今後は下位計画の数値目標を次期計画の事業評価に取り入れる仕組みを検討していく。

- ・地域福祉計画には、成年後見制度利用促進基本計画がを含んでおり、次期計画においても同様に含めることとしておりますが、権利擁護を地域全体で支えることを目的とした組織の村上市成年後見制度利用促進協議会において、成年後見制度に関する計画案は検討することとなっているため、ここで検討された計画案について、本審議会においても検討する予定です。

## 7 閉 会

佐野副会長より閉会挨拶